

1. 件名：地域原子力規制総括調整官と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子炉廃止措置研究開発センター ふげん所長との意見交換
2. 日時：平成28年7月26日（火）9時50分～10時25分
3. 場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子炉廃止措置研究開発センター  
ふげん 応接室
4. 参加者：  
原子力規制庁：地域原子力規制総括調整官（福井担当） 小山田  
敦賀原子力規制事務所長 長谷川  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子炉廃止措置研究開発センター  
：ふげん所長、副所長 他1名
5. 要旨  
面談において、ふげんの状況について、次のとおり確認した。
  - (1) 廃止措置作業等の状況について
    - ・現在、汚染除去工事中であり、6月28日に自動除染装置を報道陣に公開実施
    - ・使用済燃料の搬出については、昨年4月に検討チームを立ち上げ検討中
    - ・7月1日に廃炉に関する企業向け説明会に参加
    - ・H28年2月に原子力発電所の廃止措置を踏まえた「原子力発電所周辺環境の安全確保等に関する協定書」の改定等を実施
    - ・廃止措置に関わる情報交換を関西電力(株)、日本原子力発電(株)、中部電力(株)と実施中
    - ・H27年2月に「原子炉廃止措置研究開発センターにおいて用いた資材等に含まれる放射性物質の放射濃度の測定及び評価方法の認可」について申請。
  - (2) 保安検査に関わる事項
    - ・第1回保安検査において質問の趣旨がうまく伝わらず混乱があったことから、互いにコミュニケーションの重要性を再認識した。
  - (3) その他
    - ・関係自治体には定期的に状況を報告し、理解を得ている。
    - ・ふげんの職場は周りの人がカバーする風土がある。
    - ・若手職員に成果発表の機会を与えるなど、人材育成・志気の維持に取り組んでいる。
6. その他

資料なし